

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ31									
授業科目名 <英訳>		文化・地域環境方法論 Methodology of Cultural, Areal, and Environmental Studies				担当者所属・ 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 風間 計博 人文科学研究所 准教授 石井 美保 地球環境学舎 准教授 岩谷 彩子 人間・環境学研究科 教授 小島 泰雄 人間・環境学研究科 教授 小方 登 人間・環境学研究科 教授 山村 亜希 人間・環境学研究科 教授 増井 正哉 人間・環境学研究科 教授 中嶋 節子 人間・環境学研究科 教授 玉田 芳英 人間・環境学研究科 教授 高妻 洋成 人間・環境学研究科 教授 尾野 善裕 人間・環境学研究科 准教授 山崎 健 人間・環境学研究科 准教授 馬場 基			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	水6	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名											
【授業の概要・目的】											
民族・地域の特性や居住の諸相を文化・地域環境として捉え、建築学・人文地理学・文化財学・図形科学・文化人類学などの既存の諸分野を踏まえつつ、それらの融合を図ることによって、文化・地域環境の生成・展開・構築・保全の諸過程や現状の解明をめざすための基礎的な理論と方法論を教授する。											
【到達目標】											
履修学生が、専攻する学問分野の内に留まることなく、文化・地域環境の生成・展開・構築・保全の諸過程や現状について融合的に理解し、自らの研究に活かす能力を養うことを目標とする。											
【授業計画と内容】											
以下のように、各分野の専門領域について、リレー講義の形式で行なう。 第1回 インTRODクシヨン：講義の方針および文化・地域環境論の概略説明を行う。 第2回～4回 環境構成論分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 第5回～7回 文化人類学分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 第8回～10回 地域空間論分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 第11回～13回 文化遺産学分野の各教員が当該分野に特徴的な理論と方法論を講じる。 第14回 総合討論：これまでの講義を踏まえて、文化・地域環境の生成・展開・構築・保全の諸過程や現状について議論する。											
【履修要件】											
文化・地域環境論講座に所属する修士課程の学生は必修。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
授業への積極的な参加度（20％）とレポート2本以上（80％）によって評価する。 レポートの課題は、講義担当の各教員から提示される。 少なくとも2本のレポートを、指導教員以外の教員に提出することとし、少なくとも1本は異分野教											
----- 文化・地域環境方法論(2)へ続く -----											

文化・地域環境方法論(2)

員に提出すること。

**[教科書]**

なし

**[参考書等]**

(参考書)  
授業中に適宜、指示する。

**[授業外学習(予習・復習)等]**

事前に、開講分野に関わる基礎的文献を読解しておくことが望ましい。授業後、各教員によって講義中に提示された文献や関連文献を読み、文化・地域環境に関する理解を深めること。

**(その他(オフィスアワー等))**

各教員が個別に指示する。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。